

2021年10月理事会議事録

日 時：2021年10月12日（金）16：00～17：20

場 所：金沢大学角間キャンパス人間社会2号館3階第1会議室・オンライン会議

出 席：辻 秀人・佐古和枝・佐藤宏之・足立佳代・植田 真・岡林孝作・河村好光・惟村忠志・滝沢 誠・田尻義了・谷口 榮・寺崎秀一郎・時枝 務・中山誠二・萩野谷 悟・馬淵和雄・溝口孝司・宮里 修・高麗 正、監事：都築恵美子・橋本裕行、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：臼杵 勲・大塚昌彦・亀田直美・小菅将夫・中嶋郁夫

進 行：谷口 榮

議 長：辻 秀人

谷口理事から、本日の出席者は21名（うち理事19名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

谷口理事から、愛知県の渡辺 誠会員が2021年9月14日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第654号 退会会員の承認について

谷口理事から、北海道の*会員から2021年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

報告第843号 2021年度金沢大会の役割分担等最終確認について

河村理事から、「大会実施要項」に基づき、9月理事会からの変更点についての説明、日程・役割分担についての確認があり、了承された。

報告第844号 名簿データの収集状況の中間報告及び以後の対応について

辻会長から、9月末の会員名簿作成用紙及びデータ締切までに約1,200通の回答があったが、全正会員数の3割にも満たないため、各理事に引き続き周知活動が求められるとともに、会員に名簿作成用紙・データの送付を促すための対応策について意見が求められた。各理事から、名簿情報の収集及び連絡方法について意見が出された。

報告第845号 高輪築堤跡保存に関わる声明発出以後について

馬淵理事から、声明「ただちに築堤の破壊をやめ、コロナ後のまちづくりを考えよう」の発出後、①さらに埋蔵文化財保護対策委員会で、高輪築堤跡の一般公開拡充を求める要望書を10月14日付で発出の上、報道機関にも情報提供を行う予定である。②10月8日（金）に高輪築堤跡4街区の発掘調査の現地見学会を理事や埋文委員を対象に実施した。③「高輪築堤の全面保存を求める会」で公開講演会が企画されているとの説明があり、了承された。

報告第846号 各委員会等における2021年度会議等報告について（その5）

1 埋蔵文化財保護対策委員会幹事会の報告

足立理事から、10月3日（土）に幹事会をオンラインで開催し、①港区高輪築堤跡について、現在の状況の情報を共有し、コロナ禍が収束していることから、限定的であった一般公開を求める要望書を委員長名で発出することとした。②高輪築堤跡や広島城跡の被爆遺構・出雲市旧海軍大社基地など、近現代遺跡の保存問題が近年顕著なことから、今後、総会でのセッション等を検討するなど積極的に取り組んでいく。③広島市広島城跡（サッカースタジアム建設予定地）の被爆遺構について、芸備地方史研究会主催のシンポジウムが10月10日に開催された。④大阪府島本町水無瀬離宮跡について、日本庭園学会から「水無瀬離宮を活用した地域づくりへの緊急提言」が出されたとの情報提供があり、当該地域及びその周辺で開発が実施されていることが指摘されたとの報告があり、了承された。

2 英文機関誌編集委員会の報告

溝口理事から、10月2日（土）に委員会をオンラインで開催し、①『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vol. 9, No. 1、及びNo. 2の編集進捗状況の確認を行った。『JJA』Vol. 9, No. 1については12月に刊行予定である。②2021年度科学研究費補助金の予算執行状況と執行予定について、世界的なコロナ禍により旅費交通費の支出の見込みがたないが、校閲費や翻訳料で執行する予定である。③『JJA』Vol. 10に向けて、掲載内容を協議した。④体裁や執筆要項について協議し、問題点を修正した。⑤海外の若手の日本考古学研究者にも投稿を勧誘する方向で、検討をすすめるとの報告があり、了承された。

報告第847号 2022年度の各委員会等における予算書の提出依頼

萩野谷理事から、各委員会及び事業担当理事に、コロナ禍によりオンライン会議の導入も進んだことから、実態に合わせた来年度予算要求案の作成、期日までの提出が求められた。

報告第848号 芸備地方史研究会主催のシンポジウム事業に関わる後援名義使用の承認について

高麗常務理事から、芸備地方史研究会からシンポジウム「広島サッカースタジアム建設予定地発見の近代遺構を考える―歴史的価値と保存・活用の検討―」について、名義後援の依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

その他

1 協会規定の整備と新名簿冊子後半に規定集を付すことについて

高麗常務理事から、新規作成予定の会員名簿に掲載する規定の選定を行うためのワーキンググループ設置の提案があり、佐藤副会長・萩野谷理事・中山理事を中心として行うこととなった。

以上